



【経過報告】（\*印は、業者の動き）

4月11日 山崎（山崎総合設計㈱）が、マンション計画の図面等を持参して、垂水神社に来た。山崎は、境内を使うと工事費が安くなる。その何割か（数百万円）を寄付すると申し出た。垂水神社宮司は、「一民間営利企業に使わせるのは問題がある。」と言って断った。山崎の図面等により、マンション計画の全貌が明らかとなり、反対運動が沸き起こった。

5月16日 市長と市議会議長各々に、連合自治会長と自治会長連名の要望書を提出。

（千三地区連合：藤木祐輔、円山町：原田一郎。豊一地区連合：仁後公雄、玉ノ井：大塚薫）

\* 5月20日 山崎が「中規模等開発事業事前協議申請書」を市役所に提出。

5月20・21日 春祭りで、署名活動。「千里タイムズ」の取材を受ける。

5月23日 第1回 3,607名分の署名を吹田市に提出。

5月27日 「千里タイムズ」の一面に反対運動の記事が掲載される。

6月1日 業者が購入した土地の登記簿謄本を入手。

6月7日 大阪府知事宛て、「環境破壊等を伴う土地売却に反対する要望書」を府住供に提出。

同日、吹田市開発調整課宛て、「建築許可の拒否について（お願い）」を提出。

同日、「千里タイムズ」の記事を見た豊中市の上新田天神社の氏子総代が、垂水神社に来る。

6月8日 有志3人で井上市長に直訴を試みたが、吹田市の幹部4名との面談になった。この席で、吹田市として、府住供に土地売却中止を申し入れていること、及び、マンション建設が開発行為に該当すると判断したことを教えられた。

6月15日 吹田市公衆集合場防火協会の懇親会の席で、有志が、井上市長に直訴した。

6月17日 第2回 3,080名分の署名を吹田市に提出。（累計 6,687名分）

6月19日 前宮司の一年祭。宮司が、「マンション反対」を強く訴えた。

6月28日 府住供に覚書の情報公開請求。（別紙の図「㊦」の部分について）

6月29日 吹田市開発調整室に「建築不同意の意思表示」を円山町6名連名で提出。

\* 7月上旬 山崎の動きが停滞した様に見えた。→ 反対運動が楽観的な雰囲気となる。

7月12日 府住供から情報公開請求により、山崎との覚書を入手。

覚書は、太田府知事の時代に締結されたもので、一民間企業の利益を目的とするこの様な覚書は、通常では考えられない旨、業界関係者から意見が寄せられた。

7月28日 府住供を有志が訪問して、覚書の破棄を要請。

8月1日 第3回 1,530名分の署名を吹田市に提出。（累計 8,217名分）

8月29日 府住供に「土地売却の中止を求める要望書」を豊津団地元自治会長名で提出。

\* 8月下旬 アプローチ（㈱アプローチ不動産販売）が、山崎にテコ入れを始める。

9月17日 大阪維新の会、杉江府会議員（土石流対策の専門家）を垂水神社に案内。

9月18日 豊津団地で反対運動の説明会。

9月19日 府住供理事長宛ての豊津団地自治会総会決議に基づく、「土地売却の中止を求める要望書」が完成し、翌日、府住供の担当者宛てに電話で事前連絡の上で郵送。

10月18日現在、吹田市の開発事前協議は、未だ通過していない。